

【資料1】矢作地区におけるまちづくりのあらまし

1. まちづくり交付金制度の活用と事後評価

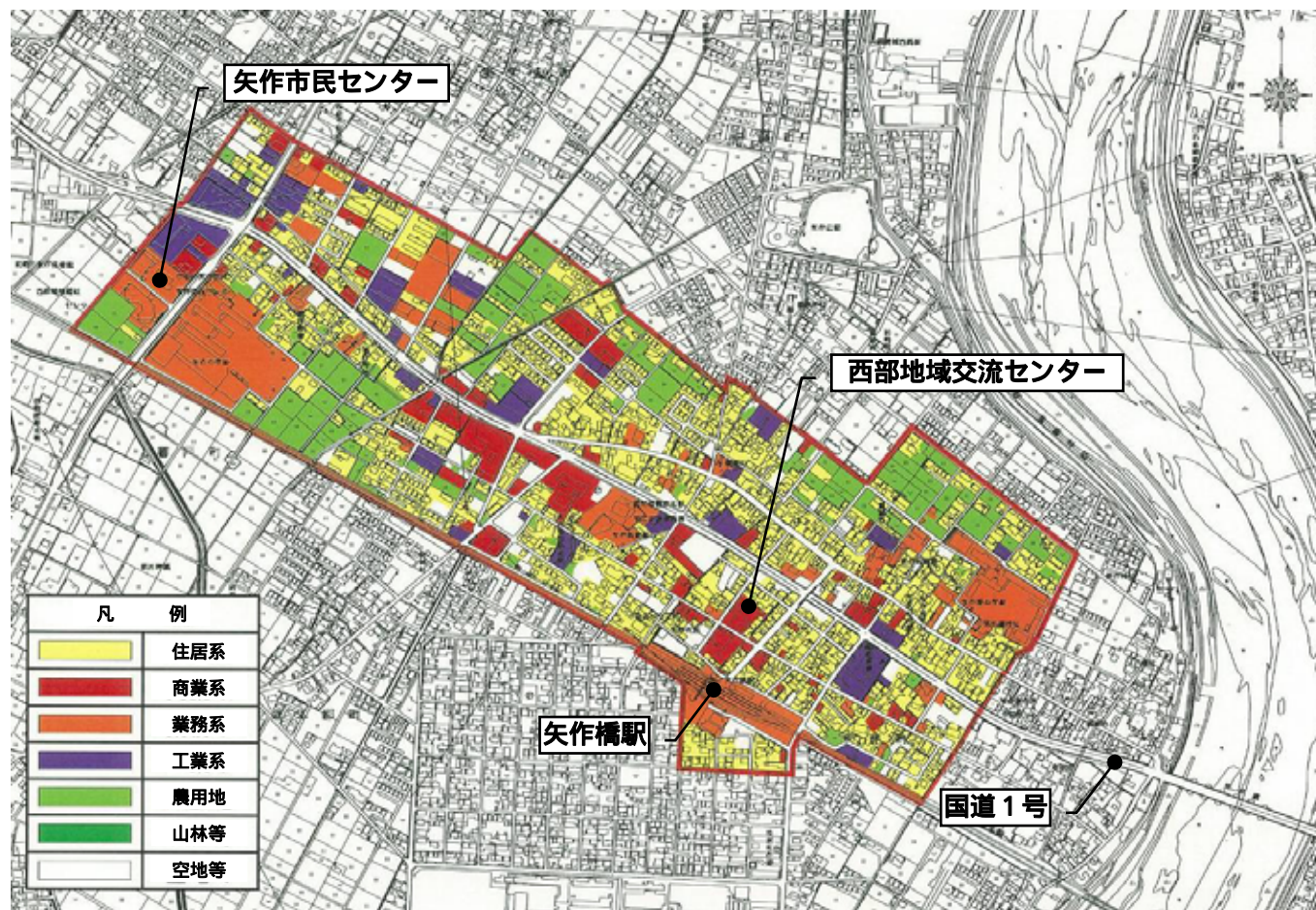
岡崎市矢作地区においては、平成18年度～平成20年度にかけて、まちづくり交付金制度を活用したまちづくりを展開しています。

この制度は、公共公益施設等の事業を個別に実施するのではなく、地区のまちづくりの目標のもと、市町村の創意工夫により事業を組み立て、一元的かつ効果的に整備を実施する自由度の高い制度です。

この制度の活用にあたり、矢作地区では、**都市再生整備計画**を定めて国の採択を受け、交付金の交付を受けて、計画に定めた事業を実施しています。

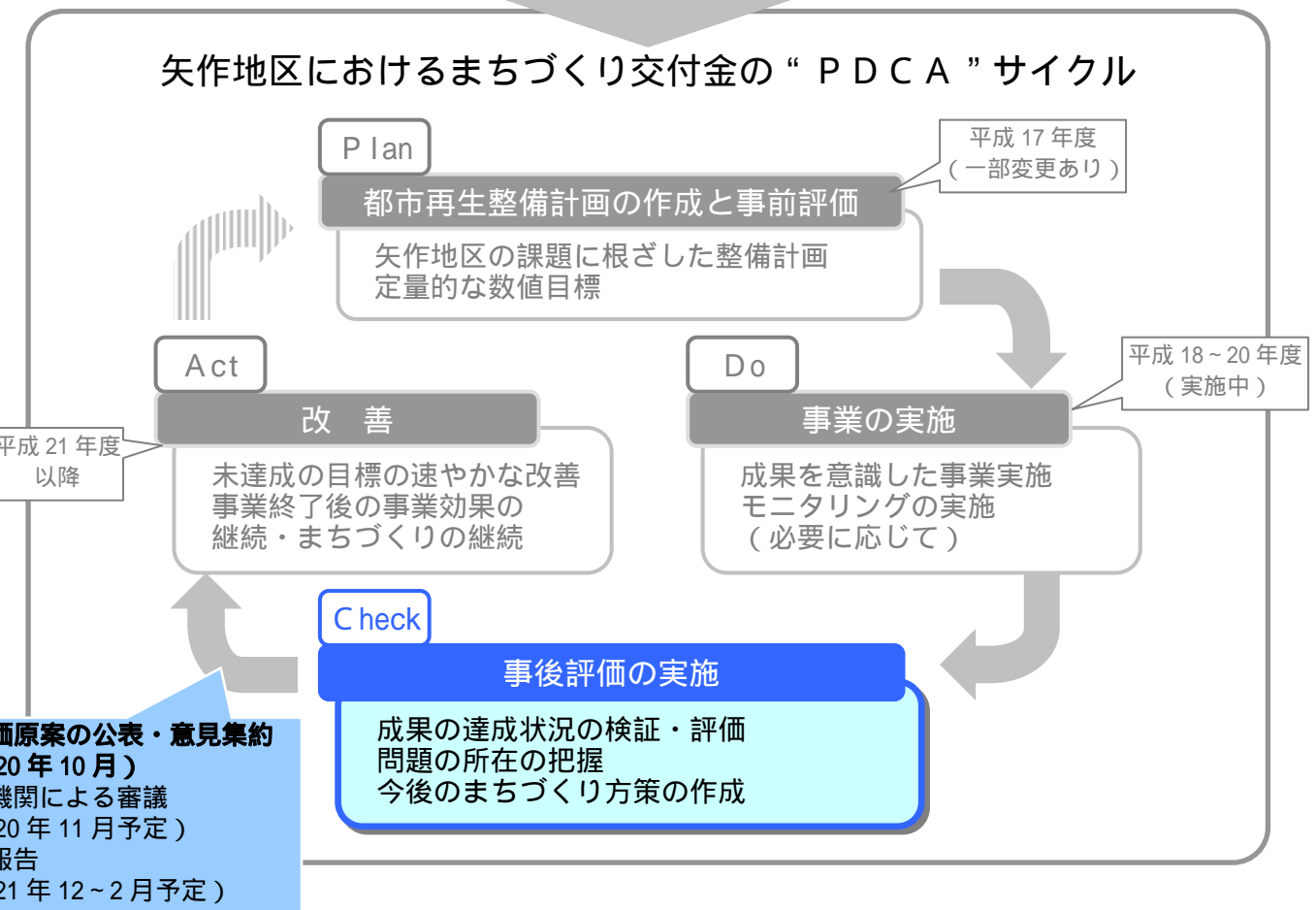
計画期間の最終年度である平成20年度は、まちづくりの成果について、可能な限り数値化された指標に基づいて、事後評価を行うこととされています。

<対象地区> 岡崎市矢作地区（85ha）
（区域：矢作町、中園町、暮戸町、東大友町、西大友町、宇頭町の一部）



<計画期間> 平成18年度～平成20年度

<まちづくり交付金制度の概要と事後評価のしくみ>



事後評価原案の公表・意見集約（平成20年10月）
第三者機関による審議（平成20年11月予定）
国への報告（平成21年12～2月予定）

2. 矢作地区都市再生整備計画の概要とまちづくり交付金事業の進捗状況

目標・目標を定量化する指標

大目標：安全で良好な生活環境を創出する交流とふれあいのまちづくり推進

小目標	整備方針
目標 1：市民活動の多様化と地域住民の交流促進を支援し地域の活性化を図る	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動の活発化により地域コミュニティの再生と元気で温かなまちづくりを進める。 道路等の生活環境整備を進め、健康的で安全な住みよいまちづくりを進める。 地震、浸水等の災害に強く、地域住民に安心を与える体制づくりを進める。
目標 2：地域整備を行い安全で安心な地域環境をつくる	
目標 3：災害に備え、地域住民が安心して暮らせる生活環境の充実	

指標(単位)	従前値(H15)	目標値(H20)
指標 1：市民活動施設利用者数	28,840 人	56,300 人
指標 2：矢作地域に本拠をもつ市民団体数	10 団体	25 団体
指標 3：矢作橋駅乗降客数	1,893,469 人	1,930,000 人

矢作地区の課題

地域における市民活動を活性化し、コミュニティの再生と多様な市民活動の交流による地域活性化を図る。

駅のバリアフリー化、道路環境整備により、安全で住民が交流しやすい環境をつくる。

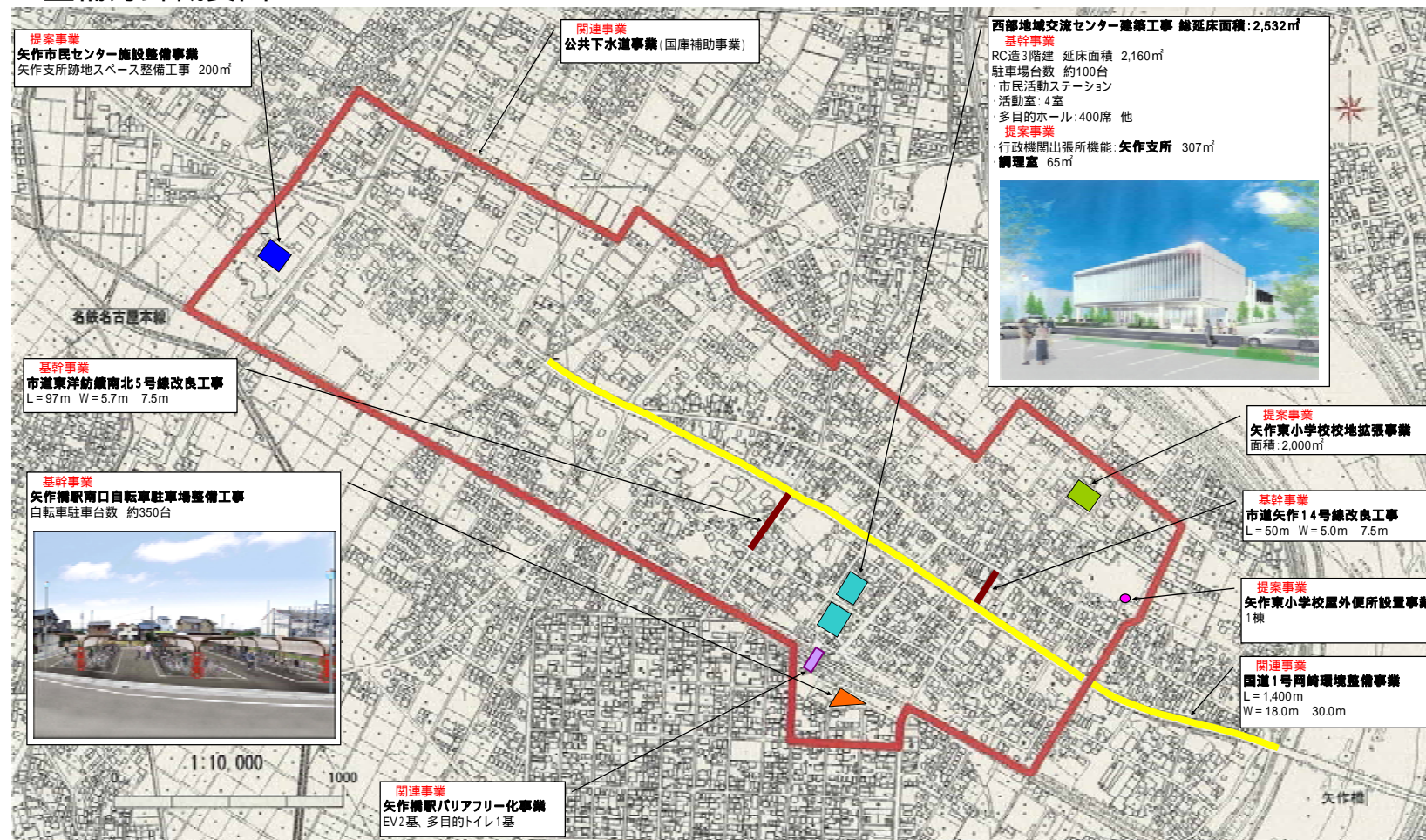
道路整備、下水道整備など都市基盤の整備を進め、健康的な生活環境を創出する。

地震、浸水などの災害に備え、安全に暮らせる環境を市民に提供する。

まちづくり交付金事業の進捗状況(平成20年9月現在)

事業/事業箇所名	進捗状況
基幹事業 道路/市道矢作14号線	H19で計画通り完了
道路/市道東洋紡績南北5号線	H20で計画通り完了(予定)
地域生活基盤施設/ 矢作駅南口自転車駐車場	H18で計画通り完了
高次都市施設/ 西部地域交流センター	H18~19で計画通り完了
提案事業 地域創造支援事業/ 矢作東小学校校地拡張事業	H19~20で計画通り完了(予定)
地域創造支援事業/ 矢作東小学校屋外便所設置事業	H20で計画通り完了(予定)
地域創造支援事業/ 矢作市民センター施設整備事業	H20で計画通り完了(予定)
地域創造支援事業/ 矢作支所・調理室(交流センター内)	H18~19で計画通り完了
関連事業 矢作橋駅バリアフリー化事業/ 名鉄矢作橋駅	H18で計画通り完了
国道1号線阿崎環境整備事業/ 西部区間(矢作地区)	H8~19での完了予定の遅れ 用地買収等の遅れのため
公共下水道事業	H18での完了予定の遅れ (H21完了の見込み) 下流域における他事業の影響及び区域内の一部に宅地化が進んでいない箇所があるため

整備方針概要図



□ : 計画通り完了、又は、完了が見込まれる事業

【資料2】矢作地区のまちづくり事業の効果（事後評価のあらまし）

方針 1 市民活動の活発化により地域コミュニティの再生と元気で温かなまちづくりを進める。

～取り組んだ主な事業～

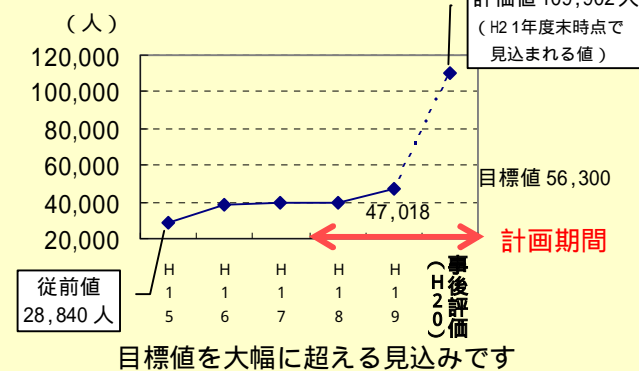
- 西部地域交流センター（やはぎかん）の建設
- 矢作市民センターの施設整備
- 矢作支所・調理室の整備（交流センター内）
- 矢作東小学校の校地拡張
- 矢作東小学校の屋外便所設置



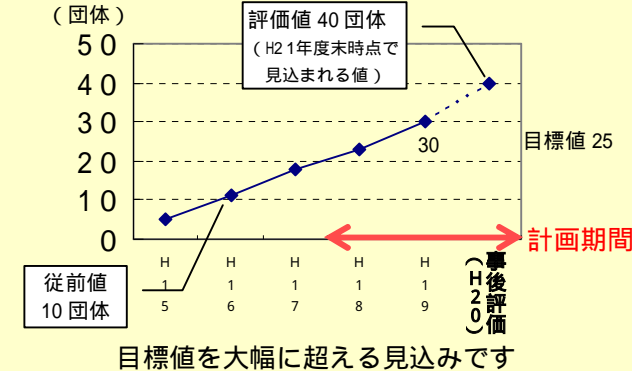
方針に対する事業の効果

- 市役所の支所機能、文化創造、市民活動の拠点機能の充実（西部地域交流センター）
- 矢作市民センターの飽和状態の解消と利便性の向上
 - ・生涯学習支援機能の充実（子ども図書室等）
- 西部地域交流センターと矢作市民センターの連携
 - ・まちづくりの発展を担う人材の育成、市民活動支援体制の構築・充実
- 子育て環境の充実
 - ・子どもの安全な遊び場、運動場所の確保
 - ・子育て支援機能の充実（子育ての悩み解決、仲間づくりの機会等）
- 地域のまちづくりを進め、課題を解決する「地域力」を育む環境の整備
- 学校開放用施設の利便性の向上（矢作東小学校）

〔指標1〕市民活動施設利用者数



〔指標2〕矢作地域に本拠をもつ市民団体数



方針 2 道路等の生活環境整備を進め、健康的で安全な住みよいまちづくりを進める。

～取り組んだ主な事業～

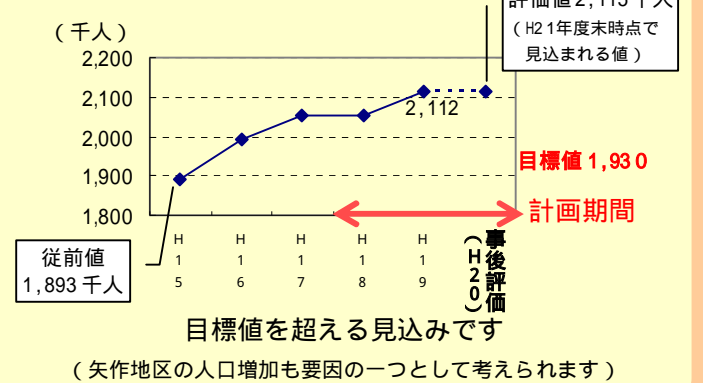
- 道路整備事業の推進
 - ・市道矢作14号線
 - ・市道東洋紡績南北5号線
- 矢作橋駅南口自転車駐車場の整備
- 矢作橋駅のバリアフリー化
 - ・バリアフリー化
 - ・エレベータ、多目的トイレの設置
- 国道1号岡崎環境整備事業の推進



方針に対する事業の効果

- 駅南口からの矢作橋駅利用の利便性の向上
- 矢作橋駅舎の利便性・快適性の向上
- 駅周辺の道路環境の充実
- 国道1号へ円滑にアクセスできる環境の充実
- 道路整備によるまちの安全・快適性の向上

〔指標3〕矢作橋駅乗降客数



方針 3 地震、浸水等の災害に強く、地域住民に安心を与える体制づくりを進める。

～取り組んだ主な事業～

- 道路整備事業の推進（再掲）
- 西部地域交流センターの建設（再掲）
- 矢作支所・調理室の整備（再掲）
- 矢作東小学校の校地拡張（再掲）
- 矢作東小学校の屋外便所設置（再掲）
- 公共下水道事業

方針に対する事業の効果

- 地域の防災拠点の充実（西部地域交流センター）
- 道路・下水道整備によるまちの安全・快適性の向上
- 災害自主防災組織・活動の充実・活発化
- 避難路となる市道、避難場所の充実

事業効果を活かした今後のまちづくりの展開

- 西部地域交流センターと矢作市民センターの機能の充実・相乗効果（活動団体やリーダーの育成/学習機会の拡充/ホール利用率の向上・利用スペースの工夫/市民ニーズに沿った企画・運営の実施）
- 地域コミュニティとの連携の強化
- 学校開放事業の推進

- 自転車駐輪場の利便性の向上
- 駅周辺の道路環境の整備による利便性の向上

- 道路整備による安全性・快適性の更なる向上
- 防災対策の充実（浸水対策、建築物の耐震性向上）

- 自主防災活動の支援・充実